

業務名：風景街道広報広聴業務
 特定企業 企業名 一般社団法人 北海道開発技術センター
 住 所 札幌市北区北11条西2丁目2番17号
 代表者 理事長 山口 登美男
 決定日：令和4年4月20日

評価項目	評価の着目点		評価のウェイト	企画提案書	
		判断基準			
業務実績	過去10年間の同種又は類似業務実績の内容		企業化しない。 企業の同種又は類似業務の実績は、企画競争参加資格の要件を確認するために用いるため、これらを満たさない者の企画提案書の特定は行わない。	参加資格要件を満たしている。	
ワーク・ライフ・バランス等の推進に関する指標の適合状況	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定(えるぼし・プラチナえるぼし認定企業、一般事業主行動計画策定企業)		「①プラチナえるぼしの認定」、「えるぼし1～3段階目の認定②3段階目③2段階目④1段階目」(いずれの段階においても「評価項目3:労働時間等の働き方」の基準を満たしていることが必要。)を取得している場合及び⑤一般事業主行動計画(計画期間が満了していないものに限る。)を策定・届出(常時雇用する労働者の数が300人以下の企業に限る。)をしている場合には優位に評価する。 ① プラチナえるぼしの認定 ② 3段階目 ③ 2段階目 ④ 1段階目 ⑤ 行動計画	① 5 ② 4 ③ 3 ④ 2 ⑤ 1	0
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん・プラチナくるみん認定企業)		「③くるみん認定」(旧基準)、「②くるみん認定」(新基準)及び「①プラチナくるみんの認定」を取得している場合には優位に評価する。 ① プラチナくるみん認定 ② くるみん認定(新基準) ③ くるみん認定(旧基準)	① 4 ② 3 ③ 2	
	青少年雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業)		青少年雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定)を取得している場合には優位に評価する。	2	
【注:複数の認定等に該当する場合には、最も配点が高い区分により加点を行う。】					
業務実施体制	業務分担及び業務実施体制の妥当性		下記に該当する場合は特定しない。 ①業務の分担構成が不明確又は不自然な場合。 ②再委託の内容が主たる部分の場合、再委託理由が記載されていない場合又は不明確の場合。 ③記載がない場合。	①②③に該当する場合は特定しない。	該当しない
予定管理技術者の経験及び能力	専門技術力	過去10年間の同種又は類似業務実績の内容	下記の順位で評価する。 ① 平成24年度以降に同種業務の実績がある。 ② 平成24年度以降に類似業務の実績がある。 ③ ①、②以外	① 30 ② 15 ③ 特定しない	30
予定担当技術者の経験及び能力	専門技術力	過去10年間の同種又は類似業務実績の内容	下記の順位で評価する。 ① 平成24年度以降に同種業務の実績がある。 ② 平成24年度以降に類似業務の実績がある。 ③ ①、②以外	① 10 ② 5 ③ 特定しない	10
実施方針 実施フロー 工程表 その他	業務理解度		目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	① 15 ② 12 ③ 9 ④ 6 ⑤ 0	12
	実施手順		業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合や業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。	① 15 ② 12 ③ 9 ④ 6 ⑤ 0	11
	その他		有益な代替案及び重要事項の指摘がある場合に優位に評価する。	① 10 ② 8 ③ 6 ④ 4 ⑤ 0	6.7
特定テーマに対する企画提案	特定テーマ	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。必要なキーワード(着眼点、問題点、解決方法等)が網羅されている場合に優位に評価する。	① 50 ② 40 ③ 30 ④ 20 ⑤ 0	43.3
		実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する。	① 30 ② 24 ③ 18 ④ 12 ⑤ 0	24
参考見積	業務コストの妥当性		提示した業務規模と大きくかけ離れているか、又は提案内容に対して見積が不適切な場合には特定しない。	数値化しない。	適切である
合 計				171	137.0